

事業所職員向け

放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境 ・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・ 自然に囲まれた環境の中で、十分なスペースがある
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・ 活動・児童の状況等により連携を図りながら安全に努めている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・ 室内は配慮されている。 ・ 事業所自体、自然豊かな場所に立地しており、安全に配慮しながら対応している。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			・ 年度初めに各自、目標を掲げているが今後改善の余地がある。 ・ 事業所全体については年度始めに全体会議を実施。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・ 保護者アンケートを年1回実施。 ・ 送迎時や連絡ノートをとおして、情報共有を図るよう努めている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			・ コンサルタントに相談しながら、必要に応じて実施を検討していく予定
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・ コロナの影響のため外部研修の参加は少なかった。 ・ オンライン研修への参加は行った。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・ 全職員から情報を収集し、参考にしながら児童発達支援管理責任者が作成している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・ アセスメントツールの使用はない。 ・ 職員間で情報を共有をしている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・ 曜日により担当を決め、担当者を中心に立案している。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・ 事業所独自のプログラムである乗馬については、天候の影響がない限り取り入れている。 ・ 児童の興味・状況に応じて変更するよう努めている。

適切な支援	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・乗馬プログラムは実施。</li> <li>・平日・休日・長期休暇に応じて変化させている部分もあるが、児童の状況により変更もしている。</li> </ul> <p>長期休暇は事業所の立地・周辺環境を活用し、屋外活動を増やしている。屋外活動が苦手な児童に対してはグループを分け別の活動</p>
-------	----	-------------------------------------	---	--	--

支 の 提 供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>一般的な国民行事に合わせ活動計画を作成している。</li> <li>児童の状況により計画変更がある。活動内容・グルーピングなど今後課題である。</li> </ul>
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>朝礼で確認している。非常勤には出勤時に口頭で伝達している。</li> <li>状況により変更せざるを得ない場合がある。対応について改善の必要はある。</li> </ul>
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>常勤者については送迎後、情報交換をしている。</li> <li>非常勤者には勤務時に伝達している。</li> </ul>
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>各児童の記録に残している。</li> <li>職員間の連絡ノートに記録を残し、必要に応じて全体ミーティングで議題にあげ、支援の在り方について検討している。</li> </ul>
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>半年に一度、必要時にモニタリングを行っている。</li> </ul>
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達管理責任者を中心に参画
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			保護者からの情報をもとに学校と直接連絡を取り、漏れのないよう留意している
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じ、行う。</li> </ul>
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			相談支援事業所と連携して実施している
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			<ul style="list-style-type: none"> <li>県立こども医療福祉センターの技術支援を利用している。</li> </ul>
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			乗馬会を開催
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか		○		<ul style="list-style-type: none"> <li>今後、参加の機会を増やしていく。</li> </ul>

28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 を持っているか	○			連絡帳や電話を利用し、情報共有してい る
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護 者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っているか		○		コロナが落ち着いたら実施予定

保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		初回契約時に行っている
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・電話や連絡ノート、送迎の際に受けることもあり、その都度対応している。 ・必要に応じ、代表からも連絡を行い相談に応じている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	コロナが落ち着いたら実施予定
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・申し出があった際には、事業所内で対応を検討し、その内容を報告するなど対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		月に一度「お便り」を作成、発行
	35	個人情報に十分注意しているか	○		・十分に注意している。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		・行っているが不足の点はある。 ・常に伝わっているか確認をしていく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		コロナ禍のため、今年度のフェスティバルは中止とした
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		コロナ感染予防マニュアルには特に力を入れている
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待防止委員会を設置し、委員会を中心に全職員への研修を実施
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		・現在身体拘束が必要な児童はいない。 ・児童のクールダウンのため、職員とともに他室に移動することはある（鍵はかけない、一人にはしていない）。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・保護者からの情報を元に対応している。

	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		リスクマネジメント委員会を作成し、定期的に会議を実施
--	----	----------------------------	---	--	----------------------------